

絵本のまち ブックフェアと IBBY

創造都市ボローニャの魅力を探る

静岡文化芸術大学 平成26年度後期 公開講座
文化政策学科 林 左和子

Bologna Children's Book Fairの概要1

2014年のデータ

期間	3月24日-27日
入場者数	3万人以上(青少年などを含む)
出展者	1,200(世界74か国から)
招待国	ブラジル

ブックフェア つまり「書籍見本市」

Bologna Children's Book Fairの概要2

児童書の出版社を表彰

2014年は

Europe : Maurizio Corraini(Italy)

Africa : Golden Baobab(Ghana NPO)

Asia : Grimm Press Ltd.(Taipei)

South America : Petra Ediciones(Mexico)

Oceania : Walker Books Australia

Bologna Children's Book Fairの概要3

Bologna Ragazzi Award(2014)

Fiction winner : *Le Noël de Marguerite* (Montreal)

Non Fiction winner : *Majn Ajef Bejs* (Krakow)

New Horizons(新興国) winner : *La chica de Polvo* (Seoul)

Opera Prima(処女作) winner : *Halens Historie* (Oslo)

Bologna Ragazzi Digital Award(2014)

Fiction winner : *Love, The App* (Caba, Argentina)

Non Fiction winner : *Pierre et le loup* (Paris)

International Award for Illustration (2014)

Winner : *Catarina Sobral*(Portugal)

Book Fairに関する疑問

なぜ成功したのか
イタリアで
ボローニャで

なぜ「絵本」なのか

Bologna Children's Book Fairの歴史1

第1回

開催日時 1964年4月4日から9日間

会場 エンツォ王宮殿とポデスタ宮殿

参加団体 44

外国からの参加 14

スペイン，フランス，アメリカ，ベルギー，
イギリス，スイス，チェコスロヴァキア，
ユーゴスラビア，ドイツ，台湾，
ユネスコ，IBBY(国際児童図書評議会)等

Bologna Children's Book Fairの歴史2

第1回 受賞作品

パンツォーネ・ドーロ賞(文学的に優れた児童書)

Scaramacai e la donna baronessa (Italy)

イル・トルキオ・ドーロ賞(視覚的に優れた作品)

Vsdemèn Nebi (CezČeskoslovensko)

審査委員は全員イタリア人

Bologna Children's Book Fair の歴史3

第2回(1965年)

参加団体 128(104か国)

日本からも至光社が参加

イタリア人アーティスト36人の作品展示会

第3回(1966年)

グラフィック賞 画家やグラフィックデザイナー、
編集者、図書館関係者などが審査

エルバ賞

(幼き批評家賞)

7歳～14歳の子どもたちが審査

Bologna Children's Book Fairの歴史4

第4回(1967年) 国際イラストレーター展始まる

第6回(1969年) 見本市会場で開催

第8回(1971年) 国際イラストレーター展が
コンクール形式となる。
選ばれた入選作品のみ展示。
応募資格なし，参加費用無料。

第32回(1995年) Bologna Ragazzi Awardに

第48回(2011年) Bologna Ragazzi Digital Award

Book Fair 成功の理由

- IBBY(国際児童図書評議会)の協力
- イタリアだから成功した
- ボローニャだから成功した

IBBY(国際児童図書評議会)とは

1946年 ミュンヘンで児童書・絵本の
展示会を開催

1949年 ミュンヘン国際青少年図書館開館

1953年 IBBY設立

1956年 国際アンデルセン賞開設

1966年 Illustrator賞を設定

IBBYのサイト参照

(<http://www.ibby.org/index.php?id=about>)

IBBYと国際教育センター

国際教育センター(フィレンツェ)

カエラ・ポエージオ氏(研究員)

ブックフェアのアドバイザー的存在

エンゾ・ペトリーニ教授 元IBBY会長(1958-60)

IBBYの理念

- 子どもの本を通じた国際理解の推進
- すべての地域の子どもたちに高い文学性と芸術性をもった本にアクセスする機会の提供
- 質の高い児童書の出版と流通の促進

(以下略)

イタリアだから成功した

- 児童書・絵本に対する考え方
- デザイン領域
 - ブルーノ・ムナーリなど
 - ⇒視覚的に優れた作品におくられる
 - イル・トルキオ・ロード賞やグラフィック賞

ボローニヤの特性

- 美食のまち，回廊のまち 集客力
- 大学(国際)都市 新しい思想，多様な価値観
- ものづくりのまち 最高の製品の追求
- 見本市のまち 児童書，絵本は文化で
あるとともに商品

⇒ 絵本の世界に新しい風をもたらす

なぜ「絵本」なのか

- イタリア，ボローニャへの影響
1966年 児童書専門出版社がミラノに設立される。
- IBBYへの影響
1966年 国際アンデルセン賞にIllustrator賞
1981年 世界のバリアフリー絵本展示
- イラストレーター展



国際アフリート絵本 (IBBY)

国際アフリート絵本

障害のある子どもたちのための絵本

障害について知る絵本

一般の絵本で広く楽しむことのできる絵本

世界各国から推薦された絵本をBook Fairで展示

1981年, 1985年, 1991年(以後は隔年)

2015年も日本から推薦

IBBY Documentation center of Books for young people with Disabilities
(<http://www.ibby.org/index.php?id=271&L=2%5C%5C%27%20and%20ocha>)

イラストレーター展

原画展が世界をまわる

⇒ 世界中から
新しい才能が集まる

創造都市ボローニャと絵本

柔軟性×最高を求める意識

- ⇒ 新しい絵本の創造
- ⇒ すべての子どもに
絵本を届ける